

=====
NT2011A-A001

WindowsServer2003 SP1 インストール向け

NX7700i 用差分 FW モジュール (efiflash.iso) 適用方法
=====

概要：

本モジュールは、NX7700i シリーズおよび Express5800/1000 シリーズに搭載した NT2011A-A001 (MegaRAID320-2) I/O カードを Windows Server 2003 Enterprise Edition (OS) Service Pack 1 (SP1) の環境で動作させるために必要な I/O カード用 FW と FW 書き換えツールが入った FW モジュールです。

OS に対し、SP1 を適用する前に、本モジュールを使い FW のバージョンアップを実施してください。なお、本モジュールの適用にはシステム停止が必要になります。

注意事項：

I/O カード交換時は弊社の保守員から本 FW バージョンを問い合わせる場合があります。お客さまでの管理をお願いします。

1. 修正モジュールインストール手順
=====

【適用環境】

HW 環境：NX7700i、及び Express5800/1000 シリーズを含む

SW 環境：Windows Server 2003 Enterprise Edition

注意事項：

本モジュールを適用するに当たり、ダウンロードされたイメージファイルから CD メディア (CD-R または CD-RW) を作成する必要があります。イメージファイルから CD メディアを作成できる環境を準備願います。

【適用媒体作成手順】

注意事項：

本モジュール適用時に事前に確認して頂きたい設定項目があります。システムコンフィグレーション-SETUP-の Option ROM サブメニュー設定で OS 立ち上げに必要なスロットに Option ROM 展開「有り」設定 (Disabled 以外) が実施されています。今回の FW バージョンアップでは Option ROM 展開「有り」設定が「Legacy Enabled」である必要があります。現在の設定が「Legacy Enabled」であれば問題ありません。現在の設定が「Legacy Enabled」以外の値の場合には「Legacy Enabled」に設定の上、以降の適用手順を実施願います。

- 1) efiflash.iso を媒体 (CD メディア) 作成可能な PC のハードディスクにダウンロードします。
- 2) 媒体作成ソフトウェア (CD ライティングソフトウェア) を使用し、イメージファイルから媒体作成を実施します。

注意事項：

媒体作成後、PC から媒体を参照して「 efiflash.iso 」のファイル名が存在する場合、媒体作成にしていることが考えられます。媒体作成ソフトウェアのイメージファイルから媒体作成手順を確認頂き、媒体の再作成をお願いします。

【適用手順】

- 1) 作成済みの本モジュール適用媒体を NX7700i DVD ドライブに搭載し、システムの DC 電源 ON を実施します。
- 2) EFI 起動状態で本修正モジュールを適用するために、EFI Boot Manager 表示画面にて対象システムの OS 起動を選択せず、

EFI Shell [Built-in]

を選択し、EFI 起動状態とします。

- 3) DVD ドライブに搭載した本モジュール適用媒体 (CD メディア) を選択します。下記の例では 「fs0:」 が本モジュール適用媒体となります。表示一覧を確認し、Shell プロンプトで 「fs0:」 を入力します。

Device mapping table

fs0 : Acpi (PNPOA03, 0) / Pci (2|1) / Ata (Primary, Master) / CDR0M (Entry0)

fs1 : Acpi (PNPOA03, 1) / Pci (2|0) / Ctrl (0) / Scsi (Pun0, Lun0) / HD (Part1, Sig81CC4A80-CBCD-01C4-507B-9E5F8078F531)

Shell> fs0:

注意事項：

Device mapping table に CDR0M の表示が存在しない場合は本モジュール適用媒体の作成に失敗していることが考えられます。媒体作成ソフトウェアのイメージファイルから媒体作成手順を確認頂き、媒体の再作成をお願いします。

- 4) 本モジュールの内容確認
「ls」 コマンドにて本モジュールの内容を確認します。
下記の 2 つのファイルが表示されます。

```
fs0:¥> ls
Directory of: fs0:¥
```

```
06/03/05 05:29p          1,048,576 1n38.rom
06/03/05 05:29p           709,632 efiflash.efi
      2 File(s)  1,758,208 bytes
      0 Dir(s)
```

注意事項：

本モジュールの内容が異なる場合は本モジュール適用媒体の作成に失敗していることが考えられます。媒体作成ソフトウェアのイメージファイルから媒体作成手順を確認頂き、媒体の再作成をお願いします。

5) 本モジュールの実行

下記のコマンドを入力し NT2011A-A001 FW のアップデートを実行する。

```
fs0:¥> efiflash.efi /i fs0:¥1n38.rom
```

-- ページが切り替わるので、下記メッセージを確認し 「 y 」を入力します。

MegaRAID Adapter Download Utility (for EFI) Version 6.11 01/24/2004

HA-0: "MegaRAID SCSI 320-2 ", Memory Baseaddr=0xfbbe0000 IRQ=0x7

Valid Images Found for following Adapters :

HA-0: MegaRAID SCSI 320-2 , 1n38.rom

Do you wish to continue (y/n)?y

-- ページが切り替わるので、下記メッセージを確認し 「 y 」を入力します。

Adapter : MegaRAID SCSI 320-2

Image : 1n38.rom

You are Flashing Firmware 1N38 BIOS G119 BOOT Block 1.7.7AMICTRL-M U823

Current Firmware 1L27 BIOS G112

Do you wish to continue (y/n)?y

Loading Image

-- ページが切り替わり、自動実行で書き換えが実施されます。

「Press any key to finish.」と表示されたら、何かキーを押しシステムを再立ち上げさせます。

注意事項：

再立ち上げ後 6) Factory Default の設定にて「MegaRAID Configuration Utility」に移入する必要があります。

<CTRL>+<M>キー を立ち上げ中に入力するタイミングがあります。

FLASH DOWNLOAD

CTRL-M ERASE

100%*****

CTRL-M PROGRAM

100%*****

BIOS ERASE

100%*****

BIOS PROGRAM

100%*****

FIRMWARE ERASE

100%*****

FIRMWARE PROGRAM

100%*****

FLASH ERASE

100%*****

FLASH PROGRAM

100%*****

BOOT BLOCK ERASE

100%*****

BOOT BLOCK PROGRAM

100%*****

Firmware Programmed Successfully.

Flash Programming Done.

Press Any Key to reset the system

-- 再立ち上げ後に下記を確認します。

「 Standard FW 1N38 」 であれば問題ありません。

```
LSI MegaRAID BIOS                Version G119 Aug 27, 2004
Copyright(c) 2004 LSI Logic Corp.
HA -0 (Bus 6 Dev 2) MegaRAID SCSI 320-2
Standard FW 1N38 DRAM=128MB (SDRAM)
Battery module is present on adapter
```

6) Factory Default の設定

POST 画面で、以下の表示を確認したら、
<CTRL>+<M>キーまたは<Enter>キーを押してください。
MegaRAID Configuration Utility が起動します。

```
LSI MegaRAID BIOS                Version G119 Aug 27, 2004
Copyright(c) 2004 LSI Logic Corp.
HA -0 (Bus 1 Dev 2) MegaRAID SCSI 320-2
Standard FW 1N38 DRAM=128MB (SDRAM)
Battery module is present on adapter
1 Logical Drives found on the host adapter.
1 Logical Drive(s) handled by BIOS
Press <Ctrl><M> or <ENTER> to Run MegaRAID Configuration Utility
or Press <Ctrl><H> for WebBIOS
```

Objects を選択し、Enter キーを押します。

Adapter を選択し、Enter キーを押します。

Factory Default を選択し、Enter キーを押します。

YES を選択し、Enter キーを押します。

下記の表示で <Ctrl><Alt>を押します。

BOOT Parameters Changed. Press Ctrl-Alt-Del to REBOOT

システムが再起動し、Factory Default が設定されます。

7) パラメータの変更

システム再起動後に実施します。

POST 画面で、同様に
<CTRL>+<M>キーまたは<Enter>キーを押してください。
MegaRAID Configuration Utility が起動します。

Objects を選択し、Enter キーを押します。

Adapter を選択し、Enter キーを押します。

Other Adapter Options を選択し、Enter キーを押します。

Temporary Offline RAID = DISABLED を選択し、Enter キーを押します。

YES を選択し、Enter キーを押します。

Temporary Offline RAID = ENABLED に変更されます。

注意事項：

アラーム音設定に関して「Factory Default」設定後はアラーム音無効
(Disable) となります。アラーム音有効 (Enable) にしたい場合
は追加設定を実施願います。

Objects → Adapter → Alarm Control → Enable Alarm

次の画面になるまで Ecs キーを押し、 YES を選択し、Enter キーを押します。

下記の表示で <Ctrl><Alt>を押します。

BOOT Parameters Changed. Press Ctrl-Alt-Del to REBOOT

システムが再起動して完了です。